

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10584004				
授業名	福祉政策と社会保障 D	形態	講義	単位	2
担当教員	吉田 浩滋				
開講学期	2024年度 前学期	曜日・時限	水曜4限		
授業目的	本科目では、私たちの生活の安定と向上を目指す福祉政策と社会保障制度に関する基礎的な知識を習得することを目的とする。具体的には、福祉政策と社会保障に関する基礎事項から、社会保障制度の役割や社会保険方式による財源の調達方法等の理解を深め、今後の持続可能性についても議論を行う。				
授業内容	テキストと事例を通し、公共政策のなかの福祉政策の位置づけや、福祉政策が生活困窮者への対策として始まったという歴史、さらには社会保障制度の体系・機能・給付内容に関する基礎知識を習得するとともに、その重要性を知る。そして、社会保障制度の改正の経緯もたどり、現状と課題、その改善策や制度持続のための方策についても考える機会を提供する。				
到達目標	福祉政策に関する基礎理論を理解し、他者に説明できること。 福祉政策の歴史的発展過程を理解し、他者に説明できること。 社会保障制度の体系、機能、給付内容、財政システムを理解し、他者に説明できること。そして、自らも、その制度の維持、改革について適切な判断ができるようになる。				
ディプロマポリシーとの関連性	<DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。				
授業形態	基本的には講義形式で行うが、アクティブラーニングの手法を導入し、福祉政策・社会保障の諸課題を理解するためのリアクションペーパーを活用した紙上ディスカッションなども取り入れ、学生の主体的参加や能動的学習を重視した授業とします。  本科目は、実務経験のある教員による授業科目です。 詳細は以下のURLをご参照ください。 <a href="https://www.shukutoku.ac.jp/extra/pdf/chiba2024jitsumukyoun.pdf">https://www.shukutoku.ac.jp/extra/pdf/chiba2024jitsumukyoun.pdf</a> (【千葉キャンパス】2024年度 実務経験のある教員一覧)				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	ISBN：9784641222151, 「はじめの社会保障」〔20版〕, 棕野美智子, 田中耕太郎, 有斐閣				
評価方法	試験によって福祉政策と社会保障に関する基礎的な知識の習得に対する評価をおこなうことを基本としつつ、リアクションペーパー、レポートを加味して総合的に評価する。				
評価基準	リアクションペーパー10点、レポート20点、試験70点、100点満点				
試験・レポート等のフィードバック	レポート課題が1回あり、授業内で講評・解説を行う。 試験は、終了後に授業内で解説し、自己採点が行えるようにする。				
注意事項及び履修条件	事前・事後学習は必ず行うこと。スキマ時間に図書館で複数の新聞に目を通し、医療や年金、介護等の社会保障に関する記事から、この領域では何が問題として取り上げられているのかを調べることも推奨します。				
S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満					
第1回					
事前学習	シラバスを読んで全体の構成を把握しておく。 テキストの序章と、第8章の「3 社会保障の機能」を読む。				
授業内容	1 オリエンテーション 2 社会保障を学ぶ意味 一人では対応できないリスクから人々を守る仕組みである社会保障制度を概観し、社会保障の全体像、定義、目的や機能等の基本的事項を学ぶ。併せてCOVID-19の感染拡大という社会的な危機に対し、社会保障がどのような役割を果たしたのか、あるいは果たせなかったのかを考える。				
事後学習	人生のさまざまな場面で直面すると思われるリスクを書き出してみる。				
参考文献	広井良典著『日本の社会保障』岩波新書 令和3年版『厚生労働白書』第1部「新型コロナウイルス感染症と社会保障」				
第2回					
事前学習	テキストの第8章「社会保障の歴史と構造 1 世界の社会保障の歴史」を読み、分からない用語や興味がある事項について調べておく。				
授業内容	テーマ：社会保障の歴史から学ぶべきこと 窮乏した人々の増加が社会保障制度誕生のきっかけとなったことをイギリスやドイツの歴史から学ぶ。				
事後学習	淑徳大学HPの「学祖・長谷川良信先生のご紹介」から、学祖が生きた時代の人々の暮らしを知る。				
参考文献	平成24年版『厚生労働白書』第1部「社会保障を考える」				
第3回					
事前学習	テキストの第8章「社会保障の歴史と構造 2 日本の社会保障の歩み」を読み、分からない用語や興味がある事項について調べておく。				
授業内容	テーマ：社会政策の変化 社会保障のための諸制度の背景にある社会政策を読み解き、日本の社会保障はどのような考え方、政策のもとに作られ、現在に至ったのかを考える。				

事後学習	「私宅監置」の問題点をまとめる。
参考文献	坂田周一著『社会福祉政策』有斐閣 【現代語訳】呉秀三・榎田五郎著『精神病患者私宅監置の実況』医学書院

第4回	
事前学習	テキスト第7章「社会保険と民間保険」の「保険の仕組み」を読み、分からない用語や興味がある事項について調べておく。
授業内容	テーマ：社会保険の構造と機能 「保険」の基本構造や、大数の法則等の基本原理を学ぶ。
事後学習	「保険者」「被保険者」「保険料」「保険給付」の説明を一覧表にまとめ、どのような保険があるのかを調べる。
参考文献	一般社団法人生命保険協会HP「生命保険の基礎知識」 <a href="https://www.seiho.or.jp/data/billboard/introduction/content03/">https://www.seiho.or.jp/data/billboard/introduction/content03/</a>

第5回	
事前学習	テキスト第7章「社会保険と民間保険」の「社会保険と民間保険」を読み、分からない用語や興味がある事項について調べておく。
授業内容	テーマ：民間保険と社会保険 それぞれの保険の特徴と相違点を学び、社会保険が強制加入になっている理由を考える。
事後学習	淑徳大学HPから、大学に在籍する4年間、全員が加入することになっている学生教育研究災害傷害保険の内容を確認し、他にどのような保険に加入しているのか、何が保障されるのかを調べてみる。
参考文献	一般社団法人生命保険協会HP「生命保険の基礎知識」 <a href="https://www.seiho.or.jp/data/billboard/introduction/content03/">https://www.seiho.or.jp/data/billboard/introduction/content03/</a>

第6回	
事前学習	テキスト第1章「医療保険」を読み、分からない用語や興味がある事項について調べておく。
授業内容	テーマ：医療保険（1） 医療保険制度の全体像を概観したうえで、健康保険、国民健康保険、後期高齢者医療制度の、それぞれの制度の概要を学ぶ。
事後学習	住んでいる自治体と隣接する自治体のHPを見て、それぞれの自治体の国民健康保険の保険料を調べ、比較する。
参考文献	厚生労働省HP「我が国の医療保険について」 <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iryohoken/iryohoken01/index.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iryohoken/iryohoken01/index.html</a>

第7回	
事前学習	平成26年度版『厚生労働白書』第1部 第1章 「我が国における健康をめぐる施策の変遷」を読み、戦後の疾病構造の変化を調べる。
授業内容	テーマ：医療保険（2） 戦後の疾病構造の変化をたどるとともに、医療費が増える要因を探り、終末期医療が医療費を増大させているという言葉を検証する。
事後学習	パンデミックという状況のなかで、発症者の治療は重症者から行うべきなのか、それとも先着順か、年齢順か、それとも抽選とすべきか等を、平等と公正という観点で検討し、1200字程度に自分の意見をまとめて提出する。
参考文献	児玉聡著『COVID-19の倫理学』（ナカニシヤ出版）

第8回	
事前学習	テキストのコラム「ロレンツ曲線とジニ係数」を読み、ジニ係数の意味を調べておく。
授業内容	テーマ：格差社会と社会保障 格差が拡大する現代日本に必要な社会保障を考え、所得や社会とのつながりといった社会・経済・政治的な事象が、健康の社会的決定要因（SDH）になっていることを学ぶ。
事後学習	健康を維持するために運動以外の何が必要なのかを考える。
参考文献	橋木俊詔『格差社会』岩波新書

第9回	
事前学習	テキスト第2章「生活保護と社会福祉制度」を読み、分からない用語や興味がある事項についてまとめておく。
授業内容	テーマ：生活保護制度 生活保護制度の概要、憲法25条との関係、制度の実施状況、手続き等を学び、「防貧」と「救貧」という観点で社会保障を整理する。
事後学習	生活保護を受けることは国民の権利ですが、生活保護の利用は、厳しい生活をおくる世帯の3割前後とされる。なぜ、このように生活保護の利用が少ないのか。その理由を考える。
参考文献	千葉市役所「生活保護のしおり」 <a href="https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/hogo/documents/r3seikatuhogonosiori_nihonngo.pdf">https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/hogo/documents/r3seikatuhogonosiori_nihonngo.pdf</a>

第10回	
事前学習	テキスト第4章「年金」を読み、分からない用語や興味がある事項をまとめておく。
授業内容	テーマ：年金保険 老化や障害・死亡といったリスクにみんなで備えるものが公的年金であることを学ぶ。
事後学習	年金制度と生活保護制度の背景にある基本的な考え方を比較する形でまとめる。
参考文献	厚生労働省HP「わたしとみんなの年金ポータル」 <a href="https://www.mhlw.go.jp/nenkinportal/">https://www.mhlw.go.jp/nenkinportal/</a>

第11回	
事前学習	年金制度や年金の保険料に関する新聞記事を探し、目をとおす。
授業内容	テーマ：年金保険の財政方式 年金制度の問題点や、少子化が年金財源に与える影響を考える。

事後学習	年金保険という制度を持続させるために必要なもの・ことを考える。
参考文献	吉川洋著『人口と日本経済』岩波新書 財務省『日本のために財政を考えよう』 <a href="https://www.mof.go.jp/policy/budget/fiscal_condition/related_data/202210_kanryaku.pdf">https://www.mof.go.jp/policy/budget/fiscal_condition/related_data/202210_kanryaku.pdf</a>

第12回	
事前学習	テキスト第2章「3 社会手当」を読み、分からない用語や興味がある事項についてまとめておく。
授業内容	テーマ：社会手当の役割 社会手当の役割を学び、その根底にある考え方を学ぶ。
事後学習	社会手当の一つである児童手当の増額等で少子化の流れは変わるのか。自分の考えをまとめる。
参考文献	厚生労働省HP「少子化対策推進基本方針について」 <a href="http://www.mhlw.go.jp?www1?topics?syoujika">www.mhlw.go.jp?www1?topics?syoujika</a>

第13回	
事前学習	テキスト第3章「介護保険」を読み、分からない用語や興味がある事項についてまとめておく。
授業内容	テーマ：介護保険 介護保険の基本的な仕組みを理解するとともに、戦後の日本の家族の形態、機能の変化をたどり、核家族化、少子高齢化が急速にすすむ日本の介護の未来を考える。
事後学習	自らの老後をイメージし、そのときに必要なもの・ことを考えよう。
参考文献	山崎史郎著『人口減少と社会保障』中公新書

第14回	
事前学習	テキスト8章「5 現代の社会保障の課題と展望」を読み、分からない用語や興味がある事項についてまとめておく。
授業内容	テーマ：社会保障と社会が直面する課題と展望 社会保障をめぐる財政資金の流れを概観した上で、社会保障給付費・社会保障関係費・国の財政状況について学ぶ。
事後学習	日本の財政の改善策を考えてみる。
参考文献	「これからの日本のために財政を考える」 <a href="https://www.mof.go.jp/budget/fiscal_condition/related_data/202007_kanryaku.pdf">https://www.mof.go.jp/budget/fiscal_condition/related_data/202007_kanryaku.pdf</a>

第15回	
事前学習	これまでの講義資料を読み返し、不明な点、疑問点があれば、それをまとめておく。
授業内容	本授業のまとめ まとめのちに、社会政策と社会保障に関する基礎的な知識の理解に関する学習目標の達成度をはかる授業内試験を実施。試験終了後に正答を示し、解説を行う。（なお、この回の欠席者には個別で別途対応する）
事後学習	自らのライフプランを考えながら、どの時期に、どのようなイベントがあり、それに備えるための社会保険はどれかを考える。
参考文献	これまでの授業資料

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p>&lt;DP-1&gt; 【社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】 社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。</p> <p>&lt;DP1-(1)&gt; 日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。</p> <p>&lt;DP1-(2)&gt; 情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。</p> <p>&lt;DP1-(3)&gt; 問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。</p> <p>&lt;DP1-(4)&gt; 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。</p>
-----------	--